

系統豚ブンゴヨークの系統造成

松岡恭二・佐野幹夫・池田公良・*丸山信明・**伊丹豊一
(大分県農業技術センター・*宇佐畜産保健衛生所・**大分県農指導課)

Kyoji MATSUOKA, Mikio SANO, Koryo IKEDA, Nobuaki MARUYAMA, and Toyokazu ITAMI :
Development of a new Strain BUNGOYORK

現在我が国の肉豚の生産体系はランドレース、大ヨークシャーを交配して得られるF₁母豚にデュロックあるいはハンプシャーを止め雄として交配する三元交配が主流となっている。近年、豚の系統造成は、国、各都道府県民間団体で行われ、ランドレース、大ヨークシャーなど、21の系統が完成し、系統間F₁母豚が広く利用されてきたが、利用体制はまだ充分とはいえず、系統豚を組織的に活用する生産体制、普及体制の早急な整備が必要である。著者らは、1987年7月に認定を受けた系統豚ブンゴヨークの系統造成を1979年11月から1987年1月までの間実施したので、その概要を報告する。

1. 方法

イギリスから雄4頭、雌10頭を直輸入し、さらに国内の栃木、茨城、静岡、鹿児島からのブリーダーから英国系大ヨークシャーを導入して雄8頭、雌40頭を基礎豚として4つの主要改良形質を基準に選抜指数法により閉鎖群育種を繰り返しながら7世代8年で系統を作出した。

1) 集団の大きさ 雄8頭、雌35頭が原則

2) 供試豚 各腹から雄2頭、雌3頭を選び、内雄1頭、雌1頭を産肉能力検定に、雄1頭、雌2頭は直接能力検定を実施した。

3) 主要改良形質及び選抜時の改良目標

1日平均増体重 (DG) (体重30kg~90kg) 700g
背脂肪の厚さ (BF) (体長40部位) 1.4cm
ロース断面積 (EM) (第5~6胸椎間) 22cm²
ハムの割合 (HR) (左半丸の大割肉片) 32.5%

4) 閉鎖群内における平均血縁係数 認定基準である20%以上であること。

2. 結果

産肉成績は選抜4形質のうち、DG、EM、HRについては、改良目標値を満足する成績であり、特にDGは基礎豚を大きく上回る数値となったが、BFについては、改良目標に達することができなかった。

第1表 1日平均増体重(DG) 単位: g

	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7
育成♂	679.2	660.9	644.0	671.2	799.8	758.1	733.5
育成♀	649.8	624.7	666.2	662.5	723.4	700.8	687.7

第2表 背脂肪の厚さ(BF) 単位: cm

	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7
育成♂	1.59	1.65	1.44	1.52	1.68	1.70	1.67
育成♀	1.57	1.54	1.52	1.61	1.73	1.81	1.60

第3表 ロース断面積(EM) 単位: cm²

	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7
育成♂	20.7	21.1	20.6	23.4	21.3	22.4	20.9
育成♀	20.6	20.9	21.0	23.7	21.1	22.4	21.2

第4表 ハムの割合(HR) 単位: %

	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7
育成♂	31.8	32.4	32.3	33.4	32.6	33.1	31.9
育成♀	32.0	32.1	32.4	33.9	32.5	33.0	32.4

繁殖成績については、現在、完成豚が初産分娩直後のため、第6世代までの成績をみると、受胎率、1腹平均産子数等いずれも良好な成績が得られている。

完成豚の平均血縁係数は、20.05%で認定基準を満足するものであり、近交係数は8.32%となった。

第5表 第6世代までの繁殖成績

世代	受胎率 (%)	1腹平均産子数(頭)	育成率 (%)	子豚の平均体重(kg) 生時	離乳時
G 0	87.5	8.9	89.0	1.28	7.5
G 1	92.5	9.1	89.0	1.36	7.0
G 2	94.2	9.1	92.5	1.36	6.9
G 3	87.5	9.5	90.7	1.18	6.9
G 4	95.0	9.5	90.0	1.30	8.1
G 5	94.1	9.0	92.2	1.26	7.6
G 6	95.0	9.2	89.0	1.17	6.4

3. ブンゴヨークの特徴

英国系大ヨークシャーが基礎豚であるため、繁殖成績がよい。特に産子数が多く、乳器はよく突出して配列が良く性質温順で子育てが上手である。またF₁母豚作出に雄、雌ともに使えるため効率的である。

なお、ブンゴヨークは、血縁係数の上昇を抑えながら、計画交配により県農業技術センターで、維持管理を行っていく。